



遠大勵志

県高校新人大会ソフトテニス競技

男子団体＝優勝



女子団体＝準優勝

10月11日(木)13:55に私は、和賀川グリーンパークに到着。男子は14:10から、女子は14:25から決勝戦が始まるとの放送がありました。男子は、黒沢尻工業高校との決勝戦。円陣を組んで檄を飛ばし、5コートと6コートへ。女子も男子に遅れること15分、盛岡誠桜高校との決勝戦。こちらも円陣を組んでみんなで声を出し合い檄を飛ばし、1コートと2コートへ移動。いよいよ決勝戦が始まりました。



男女ともに素晴らしいゲームをしてくださいました。男子の優勝、女子の準優勝どちらも素晴らしい！！お疲れ様でした。

【10/12 岩手日報 記事より】

【男子】

- 3回戦 黒沢尻北 3-0 久慈
- 準々決勝 黒沢尻北 2-0 水沢
- 準決勝 黒沢尻北 2-0 盛岡工業
- 決勝 黒沢尻北 2-0 黒沢尻工業

男子団体＝優勝(2年ぶり13度目の優勝)

【女子】

- 3回戦 黒沢尻北 2-1 遠野
- 準々決勝 黒沢尻北 2-0 盛岡二
- 準決勝 黒沢尻北 2-0 花巻南
- 決勝 黒沢尻北 0-2 盛岡誠桜

女子団体＝準優勝



【県高校新人大会
ソフトテニス男子個人優勝
城戸・中野組】

全国選手権大会サッカー県大会

- 10月5日(金)に1回戦
黒沢尻北 8-0 大船渡東
- 10月12日(金)に2回戦
黒沢尻北 0-8 花巻東

センター試験

99日前ガイダンス



10月12日(金)の3時間目と4時間目に、黒陵会館において、富士大学・山形大学教授の鈴木晃彦先生(元花巻北高校校長)をお迎えして、3年生はセンター試験まで99日となった今、何をなすべきかについて

て、熱い思いを乗せた講演を聞く機会を持ちました。演題は「未来学概論2018～Baby Steps To Giant Strides～」。ユーモアを交えながらも、一つ一つの言葉が胸に染みる、センター試験に向けて頑張らなきゃと思う講演でした。私自身



も何度かお話しを聞く機会がありましたが、毎回刺激を頂いて頑張ろう！という気持ちになります。3年生のみなさんも、センター本番まで「まだ99日あります」。

もうだめだ！科目を絞ろう！苦手な科目だけ取り組もうという考えは捨てて、時間をかけて全教科で100点さらに上乗せするには、数学で15点、物理で20点などと具体的な目標値を設定しながら、そのためには苦手な力学の基礎を徹底しようと計画に落とし込んで努力して欲しいと願います。

全国ラグビー県大会

【10/12 岩手日報記事より】

ラグビーの第98回全国高校大会県大会第3日が11日、盛岡市のいわぎんスタジアムで準々決勝4試合が行われ、黒沢尻工、盛岡工、宮古、黒沢尻北のスーパーシード4校が順当にベスト4入りした。

【準々決勝】 黒沢尻北 113 - 3 花巻東
(前半52 - 0、後半61 - 0)

黒沢尻北・佐々木大輝副主将(3年)

FW はモールを押し切り、バックスは外でつないでバランス良くトライが取れた。ミスが多かったのでアツプや前半の最初から気を引き締めていきたい。準決勝で負けた前回大会の借りを返したい。



10月13日(土)いわぎんスタジアムへ宮古高校との準決勝戦を応援に行きました。1

2:19黄色のジャージの本校のキックオフでゲームが始まる。終始相手エリアでプレーしているがなかなか得点に結びつかず苦しい展開。12:40頃、相手ゴールライン前でのモール状態に応援席のお母さん方から「もう一回、押せー、頑張れー」

の声援。この声援に背中を押されるように12:42ついにゴールライン右隅に11番がトライ。コンバージョンキックも決まり7点が入った。前半は7 - 0で終わり5分間のハーフタイム。



後半は、12:54宮古のキックオフで始まった。12:58宮古がゴールライン左隅にトライ。コンバージョンは失敗し、7-5。攻撃もなかなか波に乗れず、13:12と13:22に宮古にトライを決められ、逆転を許し7 - 19に。しかし、黒北も決して諦めることなく、13:26にトライを決めコンバージョンキックも決めたが、ここでゲーム終了のホイッスル。14 - 19で決勝進出はならなかった。しかし、最後まであきらめないプレーに、会場からは惜しめない拍手が続いていた。素晴らしい試合に胸が熱くなった。



【10/14 岩手日報記事より】

【準決勝】 黒沢尻北 14 - 19 宮古
(前半7 - 0、後半7 - 19)

▼黒沢尻北、鈴木への欠場響く

黒沢尻北は宮古の激しい当たりを押されて逆転負けを喫した。選手達は5点差の敗戦にぼうぜんと立ち尽くした。前半22分に WTB 高橋昂聖(3年)が先制トライを挙げて波に乗るかと思われた。しかし、後半は FW 勝負に徹した宮古に攻め込まれて逆転を許し、終了間際にトライ(ゴール)を返すのがやっとだった。準々決勝で左膝を負傷した高校日本代表候補のプロップ鈴木玲央(3年)が欠場したことも響いた。小田島康人監督は「鈴木への不在はしょうがない。相手の FW に圧力をか



けられた」と敗戦の弁。チームに声援を送り続けた鈴木は「悔いが残る。後輩は花園に行ってほしい」と思いを託した。

県秋季陸上

【10/14、15 岩手日報記事より】

県秋季陸上大会第1日目が県営運動公園陸上競技場が行われた。

- 【男子】・100m 第2位 高杉時史 11秒08
・110m障害 第2位 菊地琳太郎 15秒68
・400mリレー 第1位 黒沢尻北高 42秒52
(千葉晃誠、菊地琳太郎、新田隼大、高杉時史)
・三段跳び 第2位 千葉晃大 12m58
・400m障害 第3位 松尾栄太 58秒78
【女子】・5000m競歩 第2位 柴田ひなの29分52秒04
・棒高跳び 第2位 浅沼沙紀 2m70
・やり投げ 第2位 金浜凜 31m61
・400m障害 第2位 小川夏子 1分9秒18